名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	情報処理Ⅱ（ Information Processing Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	増尾　明
学科	作業療法科	授業形態	講義	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	土曜1.2限

【授業の学習内容】

本科目は、情報処理Ⅰで学んだデジタル情報の分析・解釈を目的とする。プログラミングや統計解析を通してデジタルデータの扱い方や処理過程に関する考え方を学ぶ。

※実務者経験：2007年に作業療法士免許を取得し、回復期病院、訪問看護ステーションで勤務し、主に身体機能領域に従事。

【到達目標】

本科目では、作業療法分野で使用する統計手法について学習する。
作業療法研究を行う上で客観的に治療効果を判断するための方法である統計学の必要性や使用方法について理解する。

統計学の必要性について説明できる。
基礎統計量について理解し説明できる。
各種検定について理解し、使用できる。

授業計画・内容	
1回目	代表値を理解し使用することができる。
2回目	母集団と標本を理解し使用することができる。
3回目	分散、標準偏差を理解し使用することができる。
4回目	正規分布を理解し使用することができる。
5回目	パラメトリックとノンパラメトリックにおける解析方法を理解し使用することができる。
6回目	仮説検定の流れを理解し使用することができる。
7回目	統計解析を理解し使用することができる。
8回目	統計解析を理解し使用することができる。
9回目	試験
準備学習時間外学習	基本的な四則演算や、統計ソフトの利用に必要なパソコンおよび情報処理技能が必要となる。 上記技能の未習得者は予復習する必要がある。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（100%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 研究および論文作成等に必要な統計について学びます。
受講生へのメッセージ	提供する作業療法の効果を客観的に提示するには統計学の知識が必須となります。 観察された事象を数値化し、介入効果を数量変化から判断できるようになるために統計学を学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	職業関連技術論（OT for Vocational Rehabilitation）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	磯貝　理栄
学科	作業療法科	授業形態	演習	総時間（単位）	30（1）	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月、水曜 ・1、2限

【授業の学習内容】

就労を支援することは、健康で幸せな人生を作業的に支援することである。
本講義では、我が国における就労支援の実際について広く学び、就労支援における基本的知識を習得する。

実務経験：1993年に作業療法士免許を取得し、総合病院にて急性期・回復期、訪問看護ステーションにて訪問リハビリテーションに携わってきた。

【到達目標】

1. 人にとって働くことの多様な意味を説明できる。
2. 就労支援に関する理論について説明できる。
3. 就労支援に関する評価を実施できる。
4. 就労支援に関する制度と関連施設の役割について説明できる。
5. 就労支援の現状について説明できる。

授業計画・内容	
1回目	働くことと健康について理解し説明することができる。
2回目	職業関連活動の概念について理解し説明することができる。
3回目	就労支援に関する理論について理解し説明することができる。
4回目	就労支援に関する評価について理解し説明することができる。
5回目	一般職業適性検査を実施することができる。
6回目	一般職業適性検査を実施することができる。
7回目	クレペリン検査を実施することができる。
8回目	職業興味検査を実施することができる。
9回目	障害者の就労支援制度について理解し説明することができる。
10回目	障害者の就労支援制度について理解し説明することができる。
11回目	障害者の就労支援制度に関わる職種について理解し説明することができる。
12回目	各疾患の特性と就労支援技術について理解し説明することができる。
13回目	各疾患の特性と就労支援技術について理解し説明することができる。
14回目	就労支援の実際について理解し説明することができる。
15回目	就労支援の実際について理解し説明することができる。
16回目	試験
準備学習時間外学習	教科書や資料にて授業内容を確認し、予習復習をしておいてください。 制度の違いが理解できるように、まとめ方を工夫してください。
評価方法	1．定期試験 （100%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 就労支援に必要な制度と評価及び支援方法を学びます。
受講生へのメッセージ	就労支援の考え方や制度について学びます。 評価の体験、家の近くの事業所などを確認します。就労支援を身近に感じながら学んでください。

【使用教科書・教材・参考書】

就労支援の作業療法　基礎から臨床実践まで　　医歯薬出版株式会社

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	作業療法研究法（Research of OT）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	増尾　明
学科	作業療法科	授業形態	講義	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	土曜3.4限

【授業の学習内容】

第1章　オリエンテーション、研究総論　　第2章　研究デザイン、文献検索および読み方
第3章　調査研究、実験研究　　第4章　事例研究　　第5章　作業療法とEBM
第6章　統計解析　　第7章　研究論文の発表、手続き　　第8章　研究法のまとめ

※実務者経験：2007年に作業療法士免許を取得し、回復期病院、訪問看護ステーションで主に身体機能領域に従事。

【到達目標】

本科目では、作業療法分野における研究法について学習する。なぜ作業療法士は研究をする必要があるのか、
リサーチクエスチョンを解決する方法、研究における倫理の必要性について理解する。

研究の必要性について説明できる。
EBOT、ナラティブ、ICFなどの概念を説明できる。
量的研究、質的研究、独立変数、従属変数などの用語を説明できる。
作業療法研究における倫理の必要性を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションを実施することができる。
2回目	研究デザイン、文献検索および読み方を説明することができる。
3回目	調査研究、実験研究を説明することができる。
4回目	事例研究を説明することができる。
5回目	作業療法とEBMを理解し説明することができる。
6回目	統計解析を使用することができる。
7回目	研究論文の発表、手続きの方法を理解し説明することができる。
8回目	各論の内容を理解し関連づけることができる。
9回目	試験
準備学習時間外学習	研究法の考え方を理解するために作業療法過程について理解しておくことが望ましい。 また文献検索方法のついて予復習が必要である。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（100%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 作業療法に関連のある研究法やその特徴について学びます。
受講生へのメッセージ	クライエントに適した作業療法を計画・実践し、さらにそれらの効果検証を行うためには研究法の知識は必須となります。 今後の実習および就職後の臨床現場に活かすことができるように研究法を学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	作業治療学 演習Ⅱ（Seminar to OT Methoology Ⅱ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	小林 由美
学科	作業療法科	授業形態	演習	総時間（単位）	30（1）	開講区分	通期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	水曜・2.3限

【授業の学習内容】

老年期障害および内部疾患の治療技法を実施し、作業療法技術を身につける。

※実務者経験：2000年4月に作業療法士を取得し、医療法人 光生会にて回復期、老年期、地域の作業療法に関わる。また2005年に介護予防運動指導員として地域の予防活動に参加する。2008年より専門学校教員として講義を行いながら、整形外科病院やデイサービスで臨床に携わる。

【到達目標】

本科目は、作業療法の治療技法に関する演習を中心に講義を進める
①老年期障害の作業療法の基本的知識を習得する。
②老年期障害の作業療法の治療技術を模倣できる。
③内部疾患の作業療法の基本的知識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、老年期作業療法治療における役割を理解できる。
2回目	老年期作業療法治療における企画準備することができる。
3回目	老年期作業療法治療における企画準備することができる。
4回目	老年期作業療法治療を発表できる。
5回目	老年期作業療法治療を発表できる。
6回目	老年期作業療法治療を発表できる。
7回目	老年期疾患における作業療法基本的知識を説明することができる。
8回目	老年期疾患における作業療法基本的知識を説明することができる。
9回目	老年期疾患における作業療法基本的知識を説明することができる。
10回目	内部疾患における作業療法基本的知識を説明することができる。
11回目	内部疾患における作業療法基本的知識を説明することができる。
12回目	内部疾患における作業療法基本的知識を説明することができる。
13回目	内部疾患における作業療法基本的知識を説明することができる。
14回目	内部疾患における作業療法基本的知識を説明することができる。
15回目	内部疾患における作業療法基本的知識を説明することができる。

準備学習時間外学習	総合実習に臨むにあたる準備を行う。そのため、各疾患の特徴理解、作業療法評価および治療過程など全般について習得が不十分な者は、苦手分野について復習する必要がある。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（100%） 5. 実地試験（0%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生へのメッセージ	老年期における企画運営を行い、演習を行います。チームワークにて役割を担っていきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

なし

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	身体機能治療学Ⅲ（ Physical Function Treatment Methodology Ⅲ ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	小林 由美
学科	作業療法科	授業形態	講義	総時間（単位）	30（1）	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月.火 ・ 2限

【授業の学習内容】

呼吸器疾患、循環器疾患、代謝性疾患、悪性新生物（ターミナル期）の基礎知識とリスク管理、作業療法介入について習得する。

※実務者経験：2000年4月に作業療法士を取得し、医療法人 光生会にて回復期、老年期、地域の作業療法に関わる。また2005年に介護予防運動指導員として地域の予防活動に参加する。2008年より専門学校教員として講義を行いながら、整形外科病院やデイサービスで臨床に携わる。

【到達目標】

1. 内部障害の定義、機能障害、能力障害、について理解することができる。
2. 内部障害の作業療法におけるQOLの位置づけを理解することができる。
3. 循環器疾患の作業療法評価、介入法を理解することができる。
4. 呼吸器疾患の作業療法評価、介入法を理解し、喀痰吸引を行う実技を身に付ける。
5. 代謝性疾患の作業療法評価、介入法を理解することができる。
6. 悪性新生物の作業療法評価、介入法を理解することができる。
7. ターミナル期における作業療法の役割と評価、介入法を理解することができる。

授業計画・内容	
1回目	内部障害の定義、機能障害、能力障害、について理解し説明することができる。
2回目	循環器障害におけるOT介入を理解し説明することができる。
3回目	循環器障害におけるOT介入を理解し説明することができる。
4回目	呼吸器疾患におけるOT介入を理解し説明することができる。
5回目	呼吸器疾患におけるOT介入を理解し説明することができる。
6回目	代謝性疾患におけるOT介入を理解し説明することができる。
7回目	代謝性疾患におけるOT介入を理解し説明することができる。
8回目	悪性新生物におけるOT介入を理解し説明することができる。
9回目	循環器障害におけるOTの評価を実践することができる。
10回目	呼吸器疾患におけるOTの評価を実践することができる。
11回目	代謝疾患におけるOTの評価を実践することができる。
12回目	悪性新生物におけるOTの評価を実践することができる。
13回目	内部障害の治療技術を模倣することができる。
14回目	内部障害の治療技術を模倣することができる。
15回目	試験
16回目	

準備学習時間外学習	確認プリントを配布します。プリントを使用して復習してください。		
評価方法	1. 定期試験（100%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	呼吸器・循環器・代謝性疾患、悪性新生物（ターミナル期）の基礎知識とリスク管理、作業療法介入について学びます。
受講生へのメッセージ	講義において基礎からの復習を行ないます。治療と評価を組み合わせて取り組みましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

心大血管疾患の作業療法：日本作業療法士協会
呼吸器疾患の作業療法：日本作業療法士協会
がんの作業療法：日本作業療法士協会

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	小児期治療学（Developmental Disorders OT Methodology）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	加賀谷　繁
学科	作業療法科	授業形態	講義	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	金曜　1・2限

【授業の学習内容】
発達障害を伴う各疾患についてその特徴を理解し、各疾患の臨床症状について学ぶ。各疾患の症例検討を通じて、治療的な関わりの指向性を理解し、具体的な治療的関わり方を検討し習得する。
※実務者経験：1983年6月作業療法士免許取得。同年　医療法人大道会ボバース記念病院で小児作業療法を実践され、1989年名古屋市総合リハビリテーションセンター、各務原市社会福祉事業団福祉の里　肢体不自由児通園施設など、一貫した小児期の作業療法に携わっている。2008年から4年間に愛知医療学院短期大学　准教授として教育にも関わられている。

【到達目標】

1．発達障害の各疾患の臨床症状を理解し説明することができる。
2．発達障害の各疾患の臨床症状から問題点の結びつきが理解し説明することができる。
3．発達障害の各疾患の臨床症状から治療的な関わりの思考過程を理解し説明することができる。

授業計画・内容	
1回目	対人援助活動における対象者との子どもの関わりを理解し説明することができる。
2回目	発達障害領域の対象児を理解し説明することができる。
3回目	正常運動発達について理解し説明することができる。
4回目	姿勢と運動について理解し説明することができる。
5回目	発達障害の疾患について紹介し、発達障害について理解することが出来る
6回目	ダウン症の臨床像について理解し説明することができる。
7回目	ダウン症児の症例検討が出来る
8回目	脳性麻痺の臨床像について理解し、説明することができる。
9回目	脳性麻痺児の症例検討ができる。
10回目	筋ジストロフィーの臨床像について理解し説明することができる。
11回目	筋ジストロフィー症児の症例検討が出来る
12回目	姿勢と運動について運動観察から運動分析することが出来る
13回目	二分脊椎の臨床像について理解し説明することができる。
14回目	二分脊椎症児の症例検討が出来る
15回目	まとめ
準備学習時間外学習	人間発達や心理学など、過去の授業内容を復習しておくこと。 症例検討時に評価学の教科書なども用いて、調べてください。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト　（%） 3．レポート　（60%） 4．課題成果（40%） 5．実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 発達障害児に対する作業療法の実際、疾患別アプローチについて学びます。
受講生へのメッセージ	人間発達や心理学の復習をしてから参加してください。

【使用教科書・教材・参考書】

イラストでわかる発達障害の作業療法　　医歯薬出版株式会社

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	地域作業療法学（Community Based Rehabilitation and OT）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	小林由美 磯貝理栄
学科	作業療法科	授業形態	講義	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	木, 金曜 ・1,2限

【授業の学習内容】

・住環境について　・住宅の機能について　・日本の住宅の特徴と世界の住宅の特徴
・建築基礎知識　・建築図面の見方と描き方　・住宅改修　・障害別住宅改修の留意点

障害を持ちながらも、その人らしく地域で生活を送ることが出来るようになることは多くの人々の願いである。それを支援するためには、心身機能や能力のみならず環境や作業へアプローチをする力を養う必要がある。本講義では環境面に大きな影響を及ぼす制度について学ぶとともに、地域で生活する視点、支援方法ついて習得する。

※実務者経験：2000年4月に作業療法士を取得し、医療法人 光生会にて回復期、老年期、地域の作業療法に関わる。また2005年に介護予防運動指導員として地域の予防活動に参加する。2008年より専門学校教員として講義を行いながら、整形外科病院やデイサービスで臨床に携わる。
実務経験：1993年に作業療法士免許を取得し、総合病院にて急性期・回復期、訪問看護ステーションにて訪問リハビリテーションに携わってきた。また、介護支援専門員の資格も取得している。

【到達目標】

生活する人に適した環境を実現するための構造や、住宅改修に関する基本的な知識を身につけ、各障害にあった、住みやすく、豊かな生活を送る方法や工夫について理解する。
住宅改修に必要な製図を作成する。

地域で生活を送る障害者（児）や高齢者に関する法制度および施策等、地域における作業療法士の役割について学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	生活環境と作業療法について説明することができる。
2回目	生活環境と作業療法について説明することができる。
3回目	住宅の機能について理解し説明することができる。
4回目	建築基礎知識知り製図を作成することができる。
5回目	建築図面の見方と描き方知り製図を作成することができる。
6回目	サザエさんの家から住宅改修を想定することができる。
7回目	疾患別住宅改修を創造することができる。
8回目	病院と地域生活の違いについて理解し説明することができる。
9回目	制度と社会資源について理解し説明することができる（介護保険①）
10回目	制度と社会資源について理解し説明することができる（介護保険②）
11回目	制度と社会資源について理解し説明することができる（障害者総合支援法①）
12回目	制度と社会資源について理解し説明することができる（障害者総合支援法②）
13回目	家族の理解、リスク管理について説明することができる。
14回目	制度対象外の支援について説明することができる。
15回目	地域包括システムについて説明することができる。
16回目	試験
準備学習時間外学習	製図を作成する時間はそれぞれの技術によって異なるため、作成できるように自己にて進めましょう。 住んでいる地域にどのような施設があるのか、制度の変遷や歴史について、復習をしておいてください。
評価方法	1. 定期試験（75%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（25%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 生活する人に適した環境を実現するための構造や住宅改修に関する基本的な知識を学びます。住みやすく、また、豊かな生活を送る方法、工夫について学びます。 保健・医療・福祉の概念や関連法規を知り、地域での活動や生活環境などについて学びます。
受講生へのメッセージ	生活環境では、地域によっての特徴があり、その人らしい生活を行う上で　どのような環境因子があるかを共有し合いましょう。　また、製図が作成できるようにしましょう。 地域ではどのような制度の中でサービスを受けながら過ごされているのか、自分の住んでいる地域のサービスにも関心を向け、生活をイメージしながら学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書　作業療法学 ゴールド・マスターテキスト 地域作業療法学第2版　メジカルビュー
参考書籍　作業療法全書 改訂第3版 10 福祉用具の使い方・住宅環境整備　協同医書出版社

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	臨床実習Ⅲ（Clinical Practice Ⅲ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	臨床実習指導者
学科	作業療法科	授業形態	実習	総時間（単位）	540（12）	開講区分	通期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月～金曜・1～4限

【授業の学習内容】

学外実習（もしくは学内実習）を行います。
実習期間は6週間×2回
別々の病院・施設に行き、臨床の作業療法士の指導のもと技術習得を目的とした実習を行います。
事例をとおして、指導者の援助のもと、一連の流れを経験する。
技術：「面接」「観察」「検査・測定」の実践
1名もしくは複数の対象者を通して、「面接」「観察」「検査・測定」技術を習得する。
評価結果にもとづいて、「問題点」をまとめ解釈し、「目標の設定」「治療計画立案」を実施する

【到達目標】

病院や施設の作業療法の実際を学び、医療を志す学生に必要な行動を身に付ける。また作業療法の実践課程(初期評価～治療計画立案)の一連の計画を習得する。

授業計画・内容	
1日目 ～ 270時間 × 施設数	臨床実習Ⅱの目標に加えて以下の内容を実施する。 **1)評価** 1：評価結果から全体像をまとめる。 1-1「心身機能と身体構造」について列挙する。 1-2「活動と参加」について列挙する。 1-3「環境因子と個人因子」について列挙する。 1-4「生活機能と障害」との相互関係をまとめる。 2：将来像を予測する。 2-1 将来の生活に影響する環境因子と個人因子を説明する。 2-2 リハビリテーションゴールを説明する。 3：作業療法の対象となる生活機能と障害について焦点化する。 3-1「肯定的側面と否定的側面」を抽出する。 3-2 抽出した各側面に優先順位をつける。 **2）作業療法計画** 4：長期目標および短期目標を設定する。 4-1 リハビリテーションゴールに沿った作業療法目標(長期目標・短期目標)を設定する。 4-2 長期目標と短期目標を関連づけて設定する。 4-3 対象者及び家族と目標を共有する。 5：治療・指導・援助を計画する。 5-1 優先順位を設定する。 5-2 リスクを説明する。 5-3 目標に沿って期間を設定する。 5-4 他部門と連絡調整をすることができる。 **3）作業療法実施** 6：準備する。 6-1 他部門や対象者および家族との連絡調整(時間・場所・人)をする。 6-2 連絡調整した内容に沿って環境を整える。 7：治療・指導・援助について説明し、了承を得る。 7-1 作業療法目標について説明し、了承を得る。 7-2 計画について説明し、了承を得る。 7-3 目的について説明し、了承を得る。 8：計画に沿った治療・指導・援助を実施する。 8-1 時間内に実施する。 8-2 対象者の反応から実施内容の適否を判断する。 8-3 安全性を確保する。 8-4 要点(ポイント)を押さえて実施する。 9：実施中の対象者の状況変化に対応する。 9-1 状況変化に気づく。 9-2 状況変化に応じて実施内容を変更する。
準備学習 時間外学習	実習前試験を実施します。 評価技術および評価に取り組められるように、用紙や身だしなみを整えてください。
評価方法	1. レポート（15%） 2. 課題成果（15%） 3. 実地試験（30%） 4. 実習中の取組：ルーブリック評価（40%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 臨床実習施設・指導者の下、実際の作業療法の評価・治療などを経験します。
受講生への メッセージ	実習施設は学校と契約を交わし、愛知県に登録された施設で実施します。

【使用教科書・教材・参考書】

なし

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	地域作業療法学 演習Ⅱ（ Seminar Based Rehabilitation and Ot Ⅱ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	臨床実習指導者
学科	作業療法科	授業形態	演習	総時間（単位）	45（1）	開講区分	通期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月～金曜・1～4限

【授業の学習内容】

学外実習（もしくは学内実習）を行います。
別々の病院・施設に行き、臨床の作業療法士の指導のもと技術習得を目的とした実習を行います。
地域・在宅のフィールドで行う中で、指導者の援助のもと、一連の流れの一部を経験し、体験する。

【到達目標】

地域や在宅で生活する方に対するリハビリテーションのサービスの概要を説明できる
地域や在宅で生活する方に対するリハビリテーションの実際を説明することができる
地域や在宅で生活する方に対する作業療法の役割を説明することができる
地域や在宅で生活する方に対する作業療法の実際を説明することができる
医療・福祉制度の中での地域・在宅を対象とする作業療法士の役割を説明することができる
地域や在宅で生活する方の生活像を説明することができる

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	地域・在宅でのリハビリテーションの概要を学ぶ① 施設・設備・制度の概要
3回目	地域・在宅でのリハビリテーションの概要を学ぶ② 施設・設備・制度の概要
4回目	地域・在宅でのリハビリテーションの概要を学ぶ③ 運用・サービスの概要
5回目	地域・在宅でのリハビリテーションの概要を学ぶ④ 運用・サービスの概要
6回目	地域・在宅でのリハビリテーションの見学・経験を通して実際を学ぶ① フィールドワークもしくは学内実習
7回目	地域・在宅でのリハビリテーションの見学・経験を通して実際を学ぶ② フィールドワークもしくは学内実習
8回目	地域・在宅でのリハビリテーションの見学・経験を通して実際を学ぶ③ フィールドワークもしくは学内実習
9回目	地域・在宅でのリハビリテーションの見学・経験を通して実際を学ぶ④ フィールドワークもしくは学内実習
10回目	地域・在宅でのリハビリテーションの見学・経験を通して実際を学ぶ⑤ フィールドワークもしくは学内実習
11回目	地域・在宅でのリハビリテーションの見学・経験を通して実際を学ぶ⑥ フィールドワークもしくは学内実習
12回目	地域・在宅でのリハビリテーションの見学・経験を通して実際を学ぶ⑦ フィールドワークもしくは学内実習
13回目	地域・在宅でのリハビリテーションの見学・経験を通して実際を学ぶ⑧ フィールドワークもしくは学内実習
14回目	地域・在宅でのリハビリテーションの見学・経験を通して実際を学ぶ⑨ フィールドワークもしくは学内実習
15回目	まとめ・振返り
準備学習時間外学習	社会福祉制度や障害福祉制度など、既に習ったものを復習し、どの制度で運営されている施設であるか確認しておく。

評価方法			
	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート 40（%） 4. 課題成果 40（100%） 5. 実地試験 20（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	実習施設で指導者の下、もしくは学内で教員の指導の下、地域リハビリテーションの実際を学び、記録や報告、口頭試問などで理解力を測る。

受講生へのメッセージ	グループ学習活動することもありますが、個人で動くことが主です。 利用者の利益優先で実習しましょう

【使用教科書・教材・参考書】

なし

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	臨床作業療法学 Ⅲ（Seminar to Preclinical Practice Ⅲ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	横山 純子
学科	作業療法科	授業形態	演習	総時間（単位）	30（1）	開講区分	通期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月～金曜・1～4限

【授業の学習内容】

臨床実習Ⅲを有意義な学びの場にすることを目的とし、臨床現場において必要な接遇、記録、評価法等について、復習を兼ねて身につけていきます。また、治療目標や治療計画の立案についての考え方を確認していきます。

※実務者経験：1992年4月～2018年3月まで一般病床、回復期病棟、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション施設等様々な分野において臨床業務に従事。

【到達目標】

1. 対象者に対して、適切な態度で対応することができる。
2. 基本的な作業療法の情報収集、評価方法の選択ができる。
3. 基本的な作業療法の検査・測定を正しく実施することができる。
4. 得られた結果から対応課題を抽出し、初歩的な治療プログラムを立案できる。
5. 作業療法の基本的な記録をすることができる。
6. 医療専門職として責任及び節度のある態度と行動をとることができる。

授業計画・内容	
1回目	実習の準備をすることができる。
2回目	実習の準備をすることができる。
3回目	実習の準備をすることができる。
4回目	実習の準備をすることができる。
5回目	実技練習を実施することができる。
6回目	実技練習を実施することができる。
7回目	実習ｾﾐﾅｰの準備をすることができる。
8回目	実習ｾﾐﾅｰにて事例報告をすることができる。
9回目	実習ｾﾐﾅｰにて事例報告をすることができる。
10回目	実習の準備をすることができる。
11回目	実習の準備をすることができる。
12回目	実技練習を実施することができる。
13回目	実習ｾﾐﾅｰの準備をすることができる。
14回目	実習ｾﾐﾅｰにて事例報告をすることができる。
15回目	実習ｾﾐﾅｰにて事例報告をすることができる。
準備学習時間外学習	総合実習に臨むにあたる準備を行う。そのため、各疾患の特徴理解、作業療法評価および治療過程など全般について習得が不十分な者は、苦手分野について復習する必要がある。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（50%） 5. 実地試験（50%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 臨床実習Ⅲを有意義な学びの場にすることを目的とし、接遇、記録、評価方法等について身につけます。
受講生へのメッセージ	これまで学んできた作業療法の専門的知識、技術を活かして実習に臨むための準備を行います。 有意義な実習を迎えられるよう、意欲的に取り組みましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

なし

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	作業療法学　総論Ⅰ（General Theory of OT Ⅰ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	佐藤　嘉晃
学科	作業療法科	授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月～金曜　・　1～4限

【授業の学習内容】
既修得の範囲において、より高い知識の習得と、国家試験の出題や傾向に合わせた学習力を身に付ける。
※実務者経験：1990年～1997年　尾張温泉リハビリかにえ病院で臨床業務に従事。1997年～国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院　作業療法科で「国家試験対策」を担当。

【到達目標】
作業療法士国家資格の取得の為、専門基礎分野の高度な知識を習得し身に付けることで、作業療法士として必要な基礎力を高める。

授業計画・内容	
1回目	基礎分野（骨）の知識を知識を深める。
2回目	基礎分野（関節）の知識を知識を深める。
3回目	基礎分野（靭帯）の知識を知識を深める。
4回目	基礎分野（筋）の知識を知識を深める。
5回目	基礎分野（筋）の知識を知識を深める。
6回目	基礎分野（上肢の運動学）の知識を知識を深める。
7回目	基礎分野（顔面と体幹）の知識を知識を深める。
8回目	基礎分野（姿勢・歩行）の知識を知識を深める。
準備学習時間外学習	講義ではグループ学習を行います。記憶に定着させるため、その日の範囲は必ず自宅で見直しをして下さい。
評価方法	課題成果（100%）　評価方法はGPA制度となります　基礎医学領域の過去問題を中心に、問題を解いて解説を作成していきます。
受講生へのメッセージ	合格への近道は、１日24時間のうち多く時間をとることです。

【使用教科書・教材・参考書】
国試の達人　運動解剖生理学　アイペック

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名 （英）	作業療法学　総論Ⅱ （General Theory of OT Ⅱ）	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	佐藤　嘉晃
学科	作業療法科	授業 形態	演習	総時間 （単位）	15 （1）	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月～金曜　・　1～4限

【授業の学習内容】
既修得の範囲において、より高い知識の習得と、国家試験の出題や傾向に合わせた学習力を身に付ける。

※実務者経験：1990年～1997年　尾張温泉リハビリかにえ病院で臨床業務に従事。1997年～国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院　作業療法科で「国家試験対策」を担当。

【到達目標】
作業療法士国家資格の取得の為、専門基礎分野の高度な知識を習得し身に付けることで、作業療法士として必要な基礎力を高める。

授業計画・内容			
1回目	基礎分野（バイオメカニクス・運動学習）の知識を知識を深める。		
2回目	基礎分野（神経、感覚と受容器）の知識を知識を深める。		
3回目	基礎分野（循環系）の知識を知識を深める。		
4回目	基礎分野（呼吸系）の知識を知識を深める。		
5回目	基礎分野（消化と吸収）の知識を知識を深める。		
6回目	基礎分野（泌尿器と生殖器）の知識を知識を深める。		
7回目	基礎分野（代謝（運動エネルギー））の知識を知識を深める。		
8回目	基礎分野（ホルモン・発生と組織）の知識を知識を深める。		
準備学習 時間外学習	講義ではグループ学習を行います。記憶に定着させるため、その日の範囲は必ず自宅で見直しをして下さい。		
評価方法	課題成果（100%）	評価方法はGPA制度となります	臨床医学領域の過去問題を中心に、問題を解いて解説を作成していきます。
受講生への メッセージ	合格への近道は、１日24時間のうち多く時間をとることです。		

【使用教科書・教材・参考書】
国試の達人　運動解剖生理学　アイペック

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	キャリア教育Ⅱ（Career Counseling Ⅱ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	後藤 由香
学科	作業療法科	授業形態	講義	総時間（単位）	15（1）	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	

【授業の学習内容】

職業人として、職業観を身に付けるとともに、必要な知識・技術を高める。
合同企業説明会や就職案内を通して自分の進路を方向づける。

【到達目標】

本科目は、職業人として、職業観を身に付けるとともに、必要な知識・技術を高める。また、合同企業説明会や就職案内を通して自分の進路を方向づける。

授業計画・内容	
1回目	企業説明会/企業説明を聞き受験先の詳細を把握することができる。
2回目	企業説明会/企業説明を聞き受験先の詳細を把握することができる。
3回目	就職対策①/作成した履歴書を返却し記入方法を理解し、模擬面接用の履歴書作成を行う。
4回目	就職対策②/模擬面接について理解し回答の仕方や立ち回りを理解することができる。
5回目	模擬面接/本番を意識して模擬面接に挑むことができる。
6回目	模擬面接/本番を意識して模擬面接に挑むことができる。
7回目	模擬面接フィードバック/フィードバックを受け本番の面接に向けて準備することができる。
8回目	模擬面接フィードバック/フィードバックを受け本番の面接に向けて準備することができる。
準備学習時間外学習	自分のキャリアについて考える時間を取ってください。そして、5年後10年後の自分から今の現状を逆算して考えてみて下さい。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（100%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 出席率40%、提出物40%（企業説明会レポート、模擬面接用履歴書）、授業態度20%
受講生へのメッセージ	ルールやマナーを守って自律的・主体的に動いてください。自分事ととらえて、早め早めに決めて動くことを期待しています。

【使用教科書・教材・参考書】

なし